世話をした町民からは、今後もこのような交流を継続してほしいという声がある。

現在、本町は姉妹市町・友好市町村関係を締結をしていない。災害時の応援協定をはじめ、相互の友好と親善を深めながら、人や文化、産業などの交流、情報の交換を通して、豊かで魅力ある地域社会をつくる必要があると考えるが。

岩﨑憲郎町長

過去において具体的に検討したことはない。締結をすることによる地域への波及効果について検討する。

一般質問

NHK各市町村イベント情報発信

問 NHKに対し各市町村のイベント情報を発信するよう申し入れを

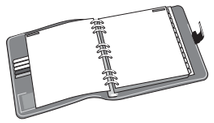
答 報道各社に依頼する

三谷幸一郎議員

NHKのデータ情報欄に高知イベント欄がある。県内各市町村の各種イベント情報を発信し、視聴者は情報を得ていたが、数年前から県関係の情報のみとなっている。各市町村イベント情報欄ではデータがない状態である。町としてNHKに対して、各町村のイベント情報を発信するよう申し入れをしてはどうか。

岩﨑憲郎町長

3年ほど前から市町村から直接受け付けせずに、県を窓口として県内の情報をデータ通信で放送している。今後の町内各種イベント情報は報道各社に依頼していく。



一般質問

南海大地震対策

問 本庁舎内一角に防災コーナーを設置し、防災に関する情報や防災グッズの展示・販売をしては

答 防災訓練などを通じて情報を提供する

三谷幸一郎議員

いつ来てもおかしくない南海大震災などに備え、各自主防災組織では各種の勉強会などを行い防災意識は日増しに高くなっている。庁舎内の一角に防災コーナーを設置し、防災に関する情報や防災グッズの展示・販売してはどうか。

岩﨑憲郎町長

町民の安全安心には最優先で取り組む。防災グッズについては、自主防災組織の訓練などを通じて情報を提供する。

一般質問

高知県後期高齢者医療葬祭費

問 事務ミスでの支給漏れはないか

答 事務ミスはない

三谷幸一郎議員

平成20年4月からスタートした高知県後期高齢者医療葬祭費の支給事務で、平成25年度末までに56件の未支給があることが判明した。そのうち42件は既に時効(2年)となっている。高知県全体の支給率は97%に対し、本町の支給率は92%に止まっているが、事務ミスでの支給漏れはないか、あるとすればどう対応するのか。

岩﨑憲郎町長

死亡届けを受理する際に、葬祭費申請記載例を基に説明をし、申請書を渡している。この事務は申請事務であり、事務的なミスはない。

一般質問

今後の林業行政

問 重要なことは山林技術者の育成であり、現計画の見直しの考えはないか

答 当初予算時の計画に基づき取り組んでおり変更する考えはない

渡辺則夫 議員

最近、本町の予算は林業に偏りすぎているのではないかという町民の素朴な疑問の声を聞く。

3月定例会で総額18億円かけて森林組合の原木市場と貯木場を造成するなどの提案がされ、慎重に審議する必要があると私は反対したが、議員各位の賛同を得ることができなく可決された。

高知県森林組合連合会嶺北木材共販所の原木取扱量は、一昨年6万立方、昨年5万立方、今年はまた減少するのではないかと言われている上に、本山町の市場が再開され、繁藤にも香美市の森林組合が貯木場市場を計画していると聞く。10万立方もの原木をどこから集めるのか、今一番大事なことは山林技術者の育成を図ることではないのか、計画を見直す考えはないか。

岩﨑憲郎町長

林業は産業として成り立たないと言われるように極めて厳しい今日の姿がある。唯一の資源である森林を宝の森林としての輝きを取り戻す施策を展開しなければ山村は生き残れない。この取り組みの一翼を担うのが森林組合であり、支援し強化を図っていくことが喫緊の課題であることから、組合の体質強化、ストックヤードの整備に対する支援をするために当初予算に計上し可決された。

一般質問

夢を育む子育て・教育環境

問 統合に伴うスクールバスの確保と特色ある地域教育の継続は

答 スクールバス運行は万全を期し、特色ある教育は継続する

渡辺則夫議員

町内の小中学校はそれぞれ一校となったが、どこに居住していても不便なく児童・生徒のスクールバスは確保されるのか。

旧大豊小や旧大田口小で地域と共に行われてきた特色ある教育は、おおとよ小学校でも継続されるのか。

吉松英喜教育長

総合学習の一環として旧大田口小学校で長年取り組んできた「太刀踊り」、「育てて売って体験活動」を引き続き行うようにしている。

松髙俊二教育委員長

義務教育は国民が共通に身につけるべき教育の基礎的な部分を誰もが等しく享受できるよう保障するものである。この観点からスクールバス運行も対応する。特色ある教育は引き続き継続する。

育てて売って体験活動（旧大田口小学校）

一般質問

集落活動センター構想

問 どんな内容のものを考えているのか

答 コミュニティーを基本とし、さまざまな活動に総合的に取り組む

渡辺則夫議員

西峰に設置しようとしている集落活動センターは、町としてはどんな内容のものを考えているのか。

岩﨑憲郎町長

西峰地区の住民が主体となって、地域外からの人材も受け入れながら、「センター」を拠点に、長年培われてきたコミュニティーを基本とし、地域の課題やニーズに応じて、生活、福祉、産業、防災といったさまざまな活動を総合的に取り組む。

一般質問

次期総合計画

問 今後の計画書策定の見通しは

答 平成26度中に策定する

渡辺則夫議員

総合計画は市町村の義務的行為ではなくなった。本町は計画書の策定をするのか、するとしたらどのように進めるのか、多くの町民の参加を得るべきではないのか。

岩﨑憲郎町長

現計画期間は平成27年3月までであり、現計画書の7項目のプロジェクトを検証し、平成26年度中に策定するが、具体的に手順は定めていない。

一般質問

庁舎の耐震対策

問 補強か、新築か早急な取り組みを

答 具体的な計画まで至っていない

渡辺則夫議員

庁舎は耐震対策が行われているのか、されてないのなら耐震補強するのか、別の建物を使うのか、新しく建てるのか、何よりも防災対策の司令塔となることから早急に取り組まなければならないことではないか。

岩﨑憲郎町長

庁舎など公共施設の円滑な整備を図るため、公共施設整備基金を設置し積み立てを行っているが、何年に着工するという計画までは至っていない。

今井安博 議員

一般質問

外国留学生が伝統行事に参加する際の制度創設

問 宿泊費の助成制度の創設を

答 魅力ある交流事業の検討が先決

庵谷集落では県内の国公立大学の留学生が、伝統行事である御輿や百手に参加し、地域のことを学んでいる。今後の計画として伝統行事だけでは